

監視テクノロジーを利用してサイの密猟取り締まりの形勢を逆転。

サイの保護区域では、周辺保護によって密猟を未然に防いでいます。



企業名:

The Rhino Pride
Foundation Sanctuary
(サイ保護団体)

所在地:

南アフリカ、リンポポ州

業種:

観光施設

アプリケーション:

安全とセキュリティ、
周辺保護

課題

国際自然保護連合 (IUCN) 種の保存委員会のアフリカ・サイ専門家グループ (AfRSG) のデータによると、アフリカでのサイ密猟事件は過去6年間、毎年増え続けています。Savetherhino.orgによると、南アフリカだけでも8時間で1頭のサイが殺されています。さらに、密猟者は、違法な不正行為の効率性を高めるため、従来の密猟方法に代わり高度なテクノロジーを取り入れています。しかしその一方、テクノロジーの使用の増加によって法的処置の強化が促進されたことで、密猟事件の増加は毎年鈍化しているとIUCNは述べています。

これを受けアクシスコミュニケーションズでは、密猟と戦い、将来5種すべてのサイが大自然の中で力強く生きられるようサポートするアフリカ国立公園とその他の組織を支援することで、保護活動に参加しています。

解決策

この支援は、リンポポ州にあるサイの保護区、The Rhino Pride Foundation Sanctuaryから始まりました。この保護区には、保護するための大規模な境界線があります。無限に続く境界線には、高度な熱検知だけでなく、防御の最前線として機能し、動物管理官が必要とする極めて重要な早期検知システムを提供するインテリジェント機能が必要でした。

さらに、インフラとネットワークも整備されていなかったため、アクシスはソーラーパネルを使用してネットワーク接続を提供する設計を考案する必要性がありました。これらのソーラーパネルのうち7つは、3台のAXIS Q1931 Thermal Network Cameraと4台のAXIS Q1941 Thermal Network Cameraとともに設置されました。さらに、この監視システムには、柔軟性と拡張性に優れたインテリジェントアプリケーション、AXIS Perimeter Defenderと、AXIS C3003-E Network Horn Speakerも含まれました。

「アクシスコミュニケーションズは、野生生物の保護活動に参加できることを非常に嬉しく思っています。私たちはこの理念に全力で取り組んでおり、当社のテクノロジーが密猟の蔓延の抑制に役立つことを願っています」

ロイ・アルヴェス (Roy Alves) - アクシスコミュニケーションズ、カンントリーマネージャー

効果

保護区を縁取る山岳地帯が、敷地のセキュリティを脅かすことはなくなりました。以前はこの広大なエリアが、密猟者が保護区にアクセスする脅威と潜在的なリスクをもたらしていました。Axisサーマルネットワークカメラの設置とAXIS Perimeter Defenderアプリケーションからの早期によるトリガーによって、完全な暗闇でさえも密猟者に隠れる場所を与えることはできません。

南アフリカのビッグファイブの1種を絶滅から救う

サイの保護区と孤児院であるThe Rhino Pride Foundation Sanctuaryでは、訪れる人々に自然の中でサイを見る機会を提供しています。この保護区は、「動物福祉に対する妥協のない追求により、保護区の持続可能な活用を通して野生生物の保護に貢献する」という理念を誇りにしています。残念なことに、サイは絶滅危惧種であるため、近年サイを保護する必要性が高まっています。これは、革新的で執拗な密猟者に加え、東部地域でサイの角のブラックマーケットが横行しているためです。

犯罪組織は、ますます巧妙な戦略と高度な設備を使用するようになってきました。そのため保護区には、犯罪者を裁き、サイをより効果的に保護するための新しいハイテクアプローチが必要でした。広く過酷な孤立した土地をパトロールするという非常に大きな課題に対処するため、動物管理官はサーマルカメラを使用し、国立公園や保護地区への不法侵入をリモートで追跡します。

一般的に国立公園の面積は非常に広大で、こういったエリアをパトロールするために自由に使える動物管理官の数は限られているため、The Rhino Pride Foundation Sanctuaryのような国立公園が、テクノロジーの助けを借りずに密猟者を効果的に抑止することは事実上不可能です。

自然とテクノロジーの微妙なバランス

アクシスのサーマルネットワークカメラによって、動物管理官は、サーマルイメージングを使用して真っ暗な場所から日当たりの良い駐車場まで、24時間365日にわたり人物、物体、インシデントを検知することができます。これにより、侵入が発生する前に不審な行動を発見し、現状を視覚的に確認してから対策を取ることが可能になります。

一方、AXIS Perimeter Defenderは、異なる場所で同時に発生する複数のイベントの検知を可能にします。検知されたイベントを分析し、脅威ではないものを除外して、危機的な状況の可能性のある事象についてセキュリティスタッフに通知します。これにより、正確な検知と最小限の誤報を実現します。

さらに、AXIS Perimeter Defenderと組み合わせてAxisネットワークホーンスピーカーを使用しています。この組み合わせにより、オペレーターはリモート操作で人に呼び掛けて、望ましくない行為を阻止することができます。また、このトランペットスピーカーは、アラームが発せられたときに、あらかじめ録音した音声ファイルを手動または自動で再生することもできます。

停電中も24時間365日を実現

この監視システムは、非常時の無停電電源装置を利用し、光ファイバーネットワークリングも太陽光発電で補われています。これにより、停電時でもシステムが機能し、非常時に危険性の高いエリアを継続的に調査・監視することが可能です。境界が侵害される前に、動物管理官が潜在的な脅威に迅速に対応できるようにするため、これは極めて重要です。

カメラとインテリジェント機能を採用することで、動物管理官は、一日中いつでも非常に効果的な周辺保護ツールを利用できるようになりました。これにより、侵入が発生する前に不審な行動を発見し、現状を視覚的に確認してから対策を取ることが可能になります。

